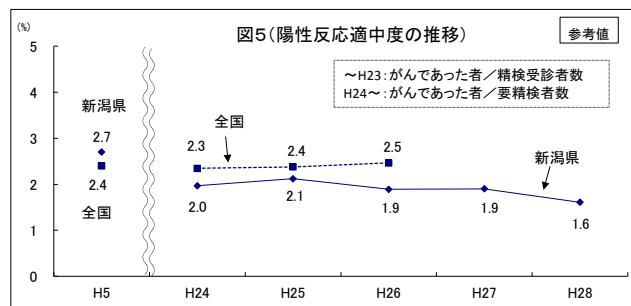
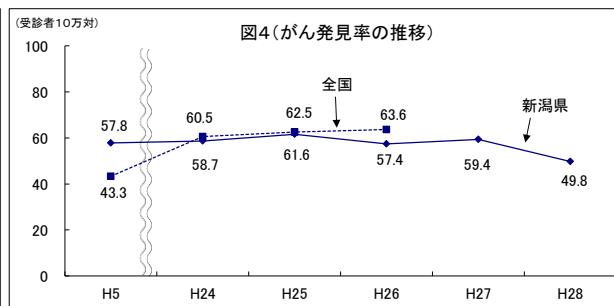
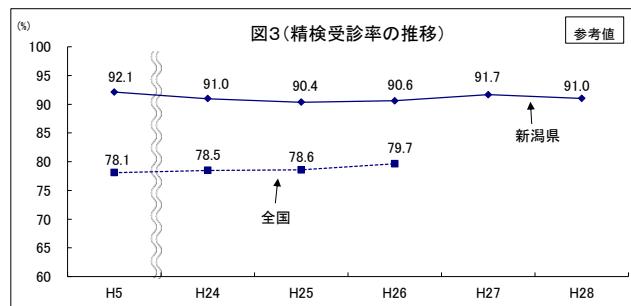
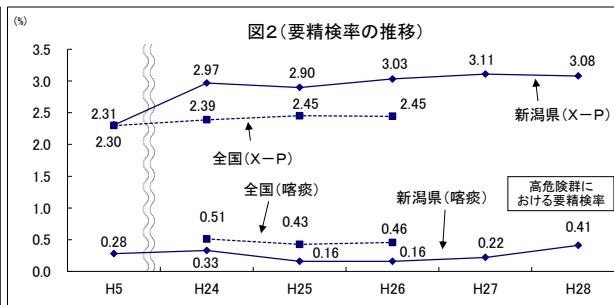
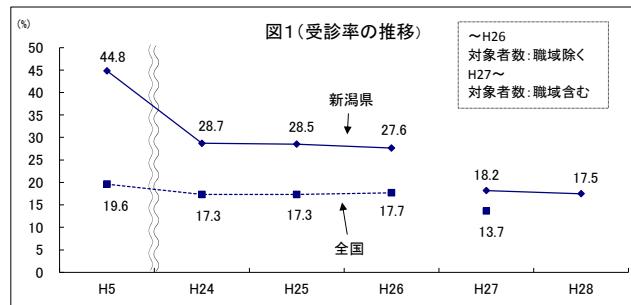


### 3 肺がん検診 肺がん検診結果の推移

	H5	H24	H25	H26	H27	H28
推計人口 ( 4/1 40歳以上)	1,283,271	1,433,645	1,437,356	1,441,971	1,445,517	<b>1,450,600</b>
対象者数	787,512	784,313	784,764	807,228	1,232,680	<b>1,264,086</b>
受診者数	352,775	224,992	223,976	223,088	224,008	<b>221,057</b>
受診率 (人口割合) (%)	27.5	15.7	15.6	15.5	15.5	<b>15.2</b>
受診率 (対象割合) (%)	44.8	28.7	28.5	27.6	18.2	<b>17.5</b>
市部・受診村状況別						
市部対象者数	498,225	756,694	757,128	779,642	1,186,451	<b>1,212,663</b>
市部受診者数	167,088	211,984	211,142	210,444	211,506	<b>208,894</b>
受診率 (対象割合) (%)	33.5	28.0	27.9	27.0	17.8	<b>17.2</b>
町村部対象者数	289,287	27,619	27,636	27,586	46,229	<b>51,423</b>
町村部受診者数	185,687	13,008	12,834	12,644	12,502	<b>12,163</b>
受診率 (対象割合) (%)	64.2	47.1	46.4	45.8	27.0	<b>23.7</b>
胸部X線検査						
胸部X線受診者数	352,577	224,992	223,976	223,088	224,008	<b>211,057</b>
要精検者数	8,140	6,680	6,499	6,764	6,975	<b>6,807</b>
要精検率 (%)	2.31	2.97	2.90	3.03	3.11	<b>3.08</b>
精検受診者数		6,176	5,992	6,208	6,461	<b>6,272</b>
精検受診率 (%)		92.5	92.2	91.8	92.6	<b>92.1</b>
喀痰細胞診						
対象者数 (高危険群)	43,397	34,612	32,380	35,099	32,937	<b>33,407</b>
採痰者数 (高危険群)	21,144	8,267	8,097	6,299	5,363	<b>5,316</b>
採痰率 (%)	48.7	23.9	25.0	17.9	16.3	<b>15.9</b>
要精検者数 (高危険群)	60	27	13	10	12	<b>22</b>
要精検率 (%) (高危険群における要精検率)	0.28	0.33	0.16	0.16	0.22	<b>0.41</b>
精検受診者数 (高危険群)		22	8	7	10	<b>11</b>
精検受診率 (%)		81.5	61.5	70.0	83.3	<b>50.0</b>
発見方法別						
がんであった者	204	132	138	128	133	<b>110</b>
X線	178	129	131	125	125	<b>108</b>
喀痰	20	2	4	0	1	<b>1</b>
X線+喀痰	6	1	3	3	2	<b>1</b>
がん発見率 (受診者 10万人対)	57.8	58.7	61.6	57.4	59.4	<b>49.8</b>
一般群	33.6	45.7	40.3	37.2	39.3	<b>31.6</b>
高危険群	229.7	130.0	174.4	165.2	166.3	<b>147.5</b>
がんの疑いのある者	83	282	239	269	301	<b>311</b>
精検結果不明者	387	91	124	79	65	<b>80</b>
精検未受診者	277	514	504	558	514	<b>533</b>



データ出典: 新潟県「胸部検診結果報告」  
厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」(～H19年度)  
厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(H20年度～)

注1) 報告市町村単位は、原則として毎年4月1日現在の市町村(年度中に合併した場合などを除く)

注2) 精検受診率(全国)の算出方法について  
精検受診率(全国) = (要精検者数 - 未把握者数) / 要精検者数 × 100

注3) 新潟県の要精検(X線判定)の扱いについて  
新潟県における要精検には、D及びEと判定されたものを含む。  
なお、地域保健・健康増進事業報告上の要精検は、E判定のみであり、Dと判定されたものは含まない。

注4) 新潟県の要精検者数について、X線と喀痰のいずれも要精検であった者の実数が不明のため、参考値として下記のとおり扱った。  
要精検者数 = X線要精検者数 + 喀痰要精検者数  
精検受診者数 = 要精検者数 - (要精検結果不明者数 + 未受診者数)  
陽性反応適中度 = がんであった者 / 要精検者数 (H24～)  
(～H23: がんであった者 / 精検受診者数)

注5) 図1(受診率の推移)のH27受診率について  
H26年度までは、職域を除く対象者数を計上することとされていたが、H27年度からは職域を含む対象者数を計上することとなった。(厚生労働省より)  
これに伴い、H27の受診率はH26に比べ低くなっている。